

リアルタイム現地情報

JA 茨城旭村及び JA ほこたのトマト部会研究会・研究部とともにトマト試作試験を実施

鉾田地域は県内最大のトマト産地で、主力のミニトマトの他、中玉、大玉も作付けされています。また、トマト、ミニトマトは県の青果物銘柄産地等にも指定されており、高く評価されています。

鉾田地域のトマト栽培では、近年、アザミウマ類やコナジラミ類等の微小害虫が媒介するウイルス病やアザミウマ類による果実の食害による減収への対策が求められています。特に、タバココナジラミが媒介するトマト黄化葉巻病が問題となっており、トマト黄化葉巻病対策の一つとして各 JA のトマト部会研究会・研究部では、耐病性品種の試作・検討を行っています。その結果、各 J A では昨年度から耐病性品種が作付けされるようになり、黄化葉巻病対策として一定の効果を挙げています。

昨年度から耐病性品種の作付けは開始されましたが、より現地に適した品種を選定するために、今年度も 9 品種・系統の試作試験を行い、研究会・研究部員とともに、試作圃場の巡回等も行いました。今後もよりよい品種の選定のために試作試験を継続していきます。

普及センターでは、今後もトマト経営体の安定生産を支援していきます。



鉾田地域農業改良普及センター